フロー マルヴェ 2022 2023 2023 The Salvation Army in Japan Annual Report 教世軍 年次報告







ごあいさつ

救世軍司令官 スティーブン・モーリス

皆様には日頃から救世軍の活動に様々な形でご支援を頂いていますことを心から感謝申し上げます。

ウクライナとロシアの戦争で家族を亡くされた方々、避難生活を余儀なくされている方々に心から神の慰めをお祈りいたします。また、トルコとシリアの地震で亡くなられた方々をおぼえて切なる哀悼の意を表します。

世界の活動を3年以上にわたってストップさせた新型コロナウイルス感染症はようやく収束しつつありますが、それがもたらした物質的・精神的な痛手からの回復にはまだ時間を要するようです。そうしたなかで救世軍は「分けへだてなくすべての人々のニーズに応える」というミッションステートメントに沿って世界の133の国と地域で伝道・福祉・医療・教育・地域開発・災害被災者支援・人身取引被害者支援の活動を進めてまいりました。この年次報告を通して2022年から2023年にかけての活動をお知らせするとともに、これらの活動を可能にしてくださった皆様のご支援に心から感謝を申し上げるものです。

2023年5月には東京の児童養護施設「救世軍世光寮」の4番目のグループホームを開設し、家庭に近い環境で子どもたちの養育ができるようになりました。また、大阪の児童養護施設「救世軍希望館」は最初のグループホームを開設するべく計画を進めております。

世界のすべての人が「豊かな命」(ヨハネによる福音書10章10節)を経験することができるよう引き続き努力してまいりますので、皆様のお祈りとご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

隣人を自分のように 愛しなさい。 マダイによる福音書 22章 393

INDEX

こあいさつ	– 01
特集	
トルコ・シリア地震	
被災地への支援	– 03
錦糸町こども食堂マナで	
給食を提供	- 05
利用者・職員の声	- 07
支援が必要な人々と	
様々な支援のかたち	- 08
会計報告・募金報告	- 09
数字で見る世界の救世軍	- 11
数字で見る日本の救世軍	- 13
世界における救世軍の活動 ――――	- 15
日本における救世軍の活動 ――――	_ 16
2022 - 2024 / 4524 7 / 525 11	10

トルコ・シリア地震 被災地への支援

2023年2月6日、トルコ南東部・シリア北西部の国境付近でM7.8の地震が発生しました。度重なる同程度の余震により何十万もの建物が損壊、約6万もの人々が犠牲となりました。現在でも数百万にのぼる人々が避難生活を余儀なくされています。

救世軍は、トルコ・シリアにおいて正式に法人登記されていないため、公的な活動は困難を極めます。そのため、両国ですでに設立、登録されている非政府組織(NGO)とのパートナーシップに資金援助をすることで、被災地への支援を行っています。

救世軍が援助を行っている2つのNGOパートナーと、彼らが現地で既に達成した活動の一部をご紹介いたします。宗教観の異なる地域での活動は不信感や嫌悪感を持たれることが多いですが、献身的な支援の継続により、心を開いてくれる現地の人々が増えています。

ZOA (ゾア)

2015年からシリアで現地パートナーを通じて活動を開始。2018年より正式に法人登記され、ダマスカスに事務所を設立。2022年2月以降は、アレッポの事務所からシリア北部政府にて活動しています。被災した現地コミュニティと協力し、支援を必要とする人々のニーズに応えています。





知的障がいを持つ 22 歳の青年ハンナ (右)。人生の大半をシリア の紛争の中に生きており、地震が発生したときは戦争の影響だと 思ったそうです。

今回の震災支援においては、地元のパートナーと共に、食料、水、避難所でのマットレスや毛布の提供、現金支給を行っています。また、建築技師のチームを雇い、建物や家が安全に過ごせるかどうかの確認を指示しています。

Convoy of Hope (コンボイ・ォブ・ホープ)

Convoy of Hope(以下 CoH)は、被災地にて、



57 歳シリア人のスビ。車椅子に乗る彼は、救助により避難することができました。余震が多かったため建物の中にいることが怖くて、雨が降っても外で過ごしたそうです。

食料、水、衛生用品、赤ちゃんのケア用品などの 重要な物資を配布しています。CoHは復興する までの間、人々に必要なものが確実に手に入れら れるようにすることを活動目標としています。

今日まで CoH は、2万3,760人の人々に、23万7,600食もの食料セット(米、豆、パスタ、小麦粉、油など)の配布サービスを行っています。



食料セットはメーカーから直接トラックで全国各地の倉庫に配送され、そこから周辺地域の村や市街地に配布されます。教会や牧師を通じて影響を受けた家族に届けられます。



救世軍が提供した物資の一部。

03 Salve 救世軍 年次報告 2022-2023 The Salvation Army in Japan Annual Report



「錦糸町こども食堂マナ」は、救世軍の社会貢献活動の一つとして、多くの人々から 支持を集めています。子どもたちに健康な食生活を提供し、その成長をサポート することは、社会にとっても大きな意義があります。

コロナ禍にスタート

2020年3月、新型コロナウイルス感染症拡大のため全国の公立小・中学校が休校となったことを機に、「緊急こども給食」がスタートしました。子どもの貧困が増加する中、学校給食で養われている子どもたちが多くいることを懸念し、子どもだけの在宅家庭の見守りも兼ねて、ご家庭の負担を少しでも軽減することを願ってのことでした。ある保護者からは「『こども給食』のおかげで、

働くママとしては本当に助かっています。子ども

にとっては、温かいものを食べられるだけではなく、外に出て教会の方と言葉を交わせることは今の時期にとても貴重なことだと感じました。そして、子どもだけじゃなく私自身も救われています。本当にありがとうございました」との声を頂きました。

コロナ禍で子育て家庭の孤立が進み、孤食や児 童虐待のニュースが後を絶ちません。大人社会の 影響はいつも小さきものに寄せられ、見えにくい 子どもの貧困が現状にあります。多くの我慢を強 いられる子どもたちやご家庭を少しでも応援した い思いから「こども給食」は始まりました。

循環支援 〜支えられ、支える

同時期、学校給食の停止を受けて乳牛を廃棄せ ざるを得ない状況があり、「酪農家を応援してく ださい」と呼びかけているニュースを聞き、農林 水産省に問い合わせました。担当者の真摯な対応 ですぐに生産者から牛乳を無償で提供して頂きま した。また、コロナの打撃を受ける近隣店舗に注 文し、提供用のお弁当を特別メニューにて提供頂 きました。窮地において支えるときに支えられる、 循環支援が生まれていきました。

学校再開後は、「こども食堂マナ」と改称し、毎月1回夕食時に活動しています。コロナに続き物価高騰も重なり利用者は増加傾向をたどっています。地域にも浸透し、開始前から行列ができます。小隊前に設置された「フードパントリーボックス」には、途絶えることなく地域の方々が食料品をご提供くださいます。また区のフードパントリーはじめ多くの企業・団体からの様々なサポートによってこの活動が支えられています。

東京・神楽坂のドーナツ店のオーナーは、「以前からこども食堂に興味があり、何か関わりを持ちたかった」と、こだわりの材料と丁寧な工程を経て作られるオーガニックドーナツを、「こども食堂マナ」に継続的にご提供くださっています。



「ドーナツもり」様からご提供頂いた、たくさんのドーナツ。



「こども食堂マナ」を利用するため整列する人々。子どもたちだけでなく、幅広い年代の方に利用して頂ける施設を目指しています。

多世代をつなぐ コミュニティを目指して

4年目に入った「こども食堂マナ」。小学生で兄弟の分も買いに来ていた子どもは中学生になり、新しい制服を見せに来てくれました。コロナが流行し、戦争が起こるこの時代にあって、子どもたちが安全に安心して過ごせることを願っています。

また、最近は子どもだけに限らず高齢者も利用してくださっています。対象を限定せずに、多世代の誰もが利用できる、コミュニティを目指しています。災害などがいつ起こるかわからない日常で、日頃から顔見知りでいることが地域力となり、何かあった際に協力し合える絆を、「こども食堂マナ」を通して築いていきたいと思います。



これらの食事を配布しました。

05 Salve 救世軍 年次報告 2022-2023 The Salvation Army in Japan Annual Report

皆様のご支援により支えられている救世軍の施設を利用 されている方、現場で働く職員の声をご紹介します。

● 願いが叶って 齋藤紀子(「ケアハウスいずみ」利用者)

「ケアハウスいずみ」に入居させて頂いて2年になります。80歳を前 に最愛の夫が介護もむなしく他界。ペットの小鳥も亡くなり、一人残され、 疲れはてて悲しむ暇もなく途方に暮れておりました。そんなとき、姪が救 世軍のケアハウスを勧めてくれました。自然豊かで病院が近く、教会もあり、 老後に住みたい理想とする所でした。特に救世軍の標語「心は神に手は 人に | が目に止まり、何か光を感じ、心を打たれたのです。早速、姪と見 学に伺い、即申し込みをいたしました。数年後、入居のお知らせを頂き姪 と大喜び、今でもその声が耳に残っています。

念願叶い、2020年10月16日に入居。忘れられない喜びの記念日とな りました。入居し、俳句、絵のクラブで仲間と学べることがうれしく、ま た日曜礼拝、朝礼での有意義なお話に心が洗われます。静かにゆっくり流 れる時間に平安を感じ、これからも体を大切に皆様に見守られながら、愛、 希望、信仰のもとに過ごせたらと思います。充実した日々を暮らせるのも 施設長さんはじめ、職員や受付の皆様、関わってくださる皆様のおかげと 感謝申し上げます。

■ 救世軍の精神で キレイ・イト

インドネシアから来たキレイと申します。私が「恵泉ホーム」で働くこ とを決めたのは、救世軍の看護大学で学んでいたとき、村上施設長が私た ちの学校に来て話してくれる機会があり、とても興味を持ったことがきっ かけでした。約2年間インドネシアで日本語や日本の介護について学んで から日本に来て約2か月たちました。職員のみなさんに助けて頂きながら、 日本の生活のこと、仕事のことを勉強中です。

毎日職員のみなさんの働きから、介護のことを学ばせて頂いています。利 用者ひとりひとり介助方法が異なるだけではなく、その日の体調によって介 助や介護方法も対応が異なっています。ひとりひとりのことをよく分かって いるからだと思います。一番特別なことは、「恵泉ホーム」が救世軍の精神に のっとり、すべての人々の必要に応えようとしているところです。私も「恵 泉ホーム」の職員としてみなさんのお役に立てるように努力していきます。

支援が必要な人々と様々な支援のかたち

あなたのご支援によって 救われる人々がいます。





生活水準が満た されない貧困者

7億人



災害被害に遭った人

№1億6千万人



学校に行けない 子どもたち

約3億人



人身取引の被害者

* 2100万人

様々な支援の形

世界が抱えている社会問題に、救世軍は立ち向かいます。 個人・企業・団体を問わず、様々な形で支援することができます。

サポート会への入会



救世軍の働きを、より多くの人に、 より充実したものに。救世軍サポー ト会は救世軍の働きをより一層充 実させるために設けられています。

● 年会費(一□)

3,000円 団体·法人 10,000円

● 会員特典

会報送付 イベント告知

○ ボランティア活動の案内

ボランティアへの参加



救世軍では一緒に活動してくださ るボランティアを募集しています。 ご興味のある方は、QR コードから 詳細をご参照ください。

● ボランティア活動の内容

御 街頭生活者支援 給食ボランティア

₩ 散髪ボランティア

⚠ 病院ボランティア

バザー活動への参加



不要になった衣料・雑貨・電化製品・ 家具・書籍などをご寄贈ください。 売上金は支援活動資金として役立 てることができます。



今後救世軍では、子ども食堂 をはじめとした、全年齢層へ の食べ物の提供活動を強化し てまいります。



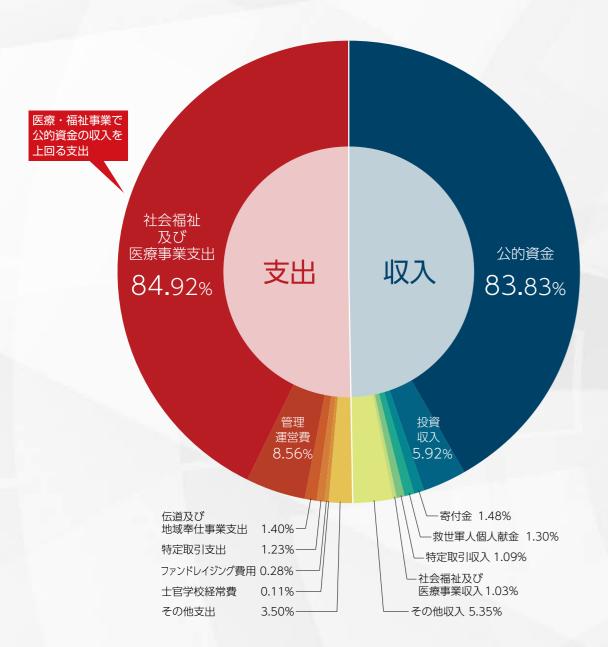
キレイ・イト 特別養護老人ホーム 「恵泉ホーム」 ケアワーカー

N7 Salve 救世軍 年次報告 2022 - 2023 The Salvation Army in Japan Annual Report



会計報告・募金報告

救世軍では国内で2つの病院、19の福祉施設を運営しています。収入として公的資金が大きな割合を占めていますが、医療・福祉事業の支出がそれを上回り、公的資金だけではまかないきれない状況です。寄付金は収入の中で4番目に大きい割合となっています。より支援を広げるために、皆様のご協力をお願いいたします。



- ※この円グラフは新国際会計基準に準拠した日本の救世軍の連結決算です。 社会福祉法人救世軍社会事業団の単独の財務諸表については、ホームページでご覧ください。 https://www.salvationarmy.or.jp/about-org
- ※救世軍の財務は、救世軍本営財務管理部による内部監査、ユアサハラ法律特許事務所の公認会計士による監査、国際本部である救世軍万国本営の会計検査官による監査の三重の体制で監査されています。 また、社会福祉法人救世軍社会事業団の財務は、監督官庁による監査を受けています。

募金へのご協力ありがとうございました。

救世軍では年に4回の募金を行っております。皆様からご支援頂いた資金は、それぞれの募金の目的に則した活動に活用され、救いを求める多くの人々の助けになっています。

一円献金 (2023年から「きずな献金」と改称)

1,143,484 -

パプアニューギニアの 人身取引被害者シェルターのため

克己週間募金

10,750,837_m

海外の救世軍の活動資金として

感謝祭募金

11,129,021_P

国内の救世軍の活動資金として

社会鍋募金

15,458,012 -

災害支援、街頭生活者支援、児童・母子支援などのため

救世軍サポート会

15,672,319_m

救世軍の活動資金として









数字で見る世界の救世軍 2022 - 2023

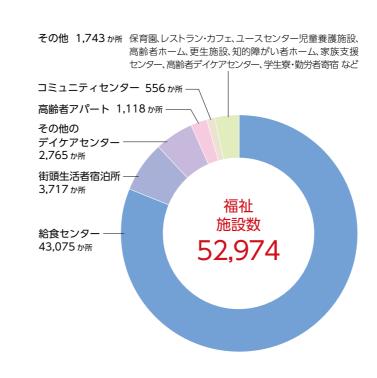
救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会と社会福祉・医療・教育施設等を通して活動しています。1865年、ロンド ンの貧しい人々、社会から顧みられない人々を物心両面から救うためにその働きを始めました。現在は世界133の国と地域で 助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えています。



 $_{\text{(GIZA)}}^{\text{救世軍士官}} 26,116$ 人 職員 101,352人

福祉

留置場支援数	27, 557人
失踪人探索取扱数	1,927人
失踪人発見数	837人
自殺防止パトロール支援数	······· 249 , 497人
職業紹介取扱数	68,806人
カウンセリング	207,860人
困窮者支援数	13,789,599人
刑務所教誨訪問数	27,302
刑務所出所者支援数	41,369
定住促進事業	71件
夏期福祉キャンプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	······119 _件



地域開発

小隊併設地域開発プログラム 46,934件 バザー場 2,704か所 23か所 リサイクルセンター

災害支援

災害被災者支援数	3,547,804人
災害復興支援事業	195件 (37,038人)
難民支援事業	6件(101,741人)
難民生活支援事業	18件(104,672人)
その他の災害被災地支援事	〕業4,170 件(147,158人)
災害給食車両	2,881台

人身取引被害者支援



救世軍万国本営 本部 イギリス・ロンドン 万国総督

大将 リンドン・バッキンガム

救世軍が活動している 国と地域

医療

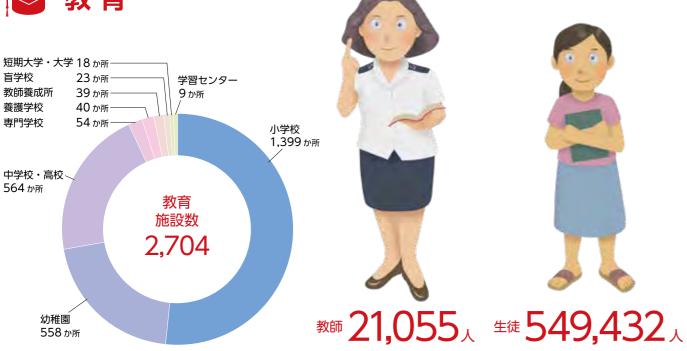
133

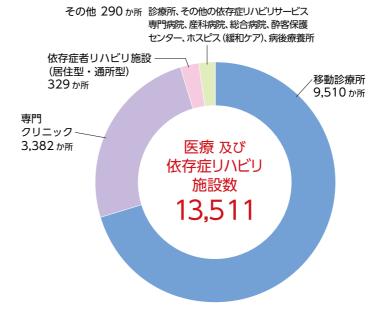
小隊(教会)· 分隊(伝道所)

14,703 か所



教育







5,715_{\(\text{\}}}





832,580, 361,887,



11 Salve 救世軍 年次報告 2022-2023 The Salvation Army in Japan Annual Report

12



数字で見る日本の救世軍 2022 - 2023

日本での活動は1895(明治28)年に12人のイギリス人士官が横浜に上陸して始まり、日本人最初の救世軍士官である山室 軍平のもと、結核療養所や廃娼運動に取り組んできました。今年で128周年を迎える日本の救世軍は、宗教法人として小隊(教 会にあたる)での伝道活動や病院の運営を、社会福祉法人として児童養護施設運営などの福祉活動を行っています。

救世軍士官(伝道者) **154**_x

兵十(信徒) 2.132



1.123

ボランティア **77**_k



看護師

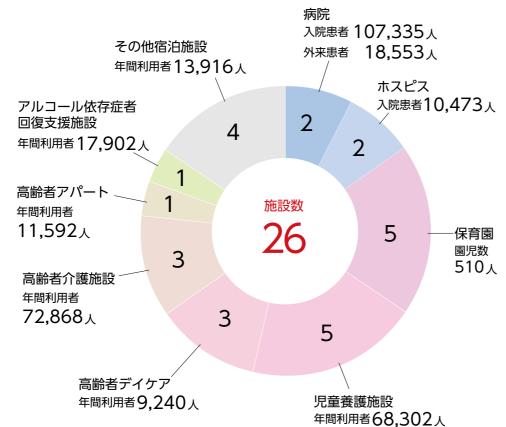
151.



小隊(教会)。 分隊(伝道所) 50か所



災害支援 100件



社会福祉施設・病院

児童養護施設

*	機恵子寮 [グループホーム 2 戸]	東京都
*	世光寮(グループホーム4戸)	東京都
*	希望館	大阪府
*	愛光園 (併設:児童家庭支援センター「明日葉」)	広島県

★ 豊浜学寮 [グループホーム2戸]

婦人保護施設

★ 婦人寮

★ 新生寮

保育園・保育所

★ 札幌市しせいかん保育園	4 011-204-9560
★ 桑園保育所 北海道札幌市	4 011-221-6630
★ 菊水上町保育園 北海道札幌市	4 011-821-2879
★ 佐野保育園 栃木県佐野市 (併設:学童保育[佐野こどもクラブ])	6 0283-22-4081
★ 呉保育所 · 広島県呉市	\ 0823-21-4711

特別養護老人ホーム等

★ 老人保健施設・ブース記念老人保健施設 グレイス 東京都杉並区 (併設:ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーション ルツ・ナオミ) ****03-3380-1248

★ 特別養護老人ホーム・恵みの家(ユニット型) 東京都杉並区 603-3381-7243

★ 特別養護老人ホーム・恵泉ホーム 東京都清瀬市 **** 042-493-5161 **** 042-496-7575

★ ケアハウス いずみ (併設:ホームヘルパーステーション いずみ)

アルコール依存症者回復支援施設

新光館 東京都 (※現在休止中)

男子宿泊施設

★ 自省館(救護施設) 東京都清瀬市 **へ**042-493-5374

その他施設

**** 03-5860-2992 男子社会奉仕センター 東京都杉並区

バザー場

救世軍バザー場 東京都杉並区 オープン 毎週土曜日 9~12時 中野富士見町(東京メトロ丸ノ内線)より徒歩10分

救世軍バザー場江東出張所 東京都墨田区 オープン 第2・第4 土曜日10~13時 錦糸町(東京メトロ半蔵門線/JR)より徒歩10分

両施設共、寄贈品受付、お問合せは 603-5860-2992 まで

病 院

救世軍ブース記念病院

〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-5 ****03-3381-7236 内科、消化器内科(内視鏡)、循環器内科、精神科、神経内 科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、眼科、漢方 内科、緩和ケア科(ホスピス外来)、各種健康診断

〈各部サービス〉医療福祉相談、健康管理講座、栄養相談、患者相談窓口、 チャプレン相談窓口

救世軍清瀬病院

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘1-17-9 ****042-491-1411 〈診療科目〉 内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテー ション科、緩和ケア内科

〈各部サービス〉医療福祉相談、通所リハビリテーション、介護予防通所リ ハビリテーション、健康管理講座、栄養相談、患者相談窓 □、チャプレン相談窓□

※★は社会福祉法人 救世軍社会事業団の施設

小隊(教会に相当)

北海道連隊 (地区)

本部 札幌市北区北22条西5丁目1-5 6011-788-5352

遠軽小隊 €0158-42-3409 釧路分隊 60155-23-4877

札幌小隊 €011-788-5352

帯広小隊 € 0155-23-4877

関東東北連隊 (地区)

本部 高崎市寄合町5 ****0283-21-5939 長野分隊 60283-21-5939 桐生小隊 60277-45-3117 前橋小隊 6027-231-9533 仙台小隊 €022-273-2368 高崎小隊 6027-323-1337 若松小隊 6283-21-5939 佐野小隊 6283-21-5939 新潟小隊 625-229-2003 熊谷小隊 6048-522-2477

東京東海道連隊 (地区)

本部 東京都墨田区太平4-11-3 ****03-6261-5701 上野小隊 63-3873-5386 杉並小隊 603-6256-8191 月島小隊 63-5860-2994 大森小隊 603-6272-9771 川口小隊 6048-267-9799 西新井小隊 **C**03-3889-3894 神田小隊 603-3263-0848 横浜小隊 6045-714-6060 京橋小隊 63-3551-0337 横須賀分隊 6045-714-6060 清瀬小隊 6042-491-7600 静清小隊 6054-365-8270 江東小隊 603-6261-5702 浜松小隊 6053-452-6717 名古屋小隊 6052-935-7875 渋谷小隊 603-6261-2447

西日本連隊 (地区)

本部 大阪市北区天神橋3-6-20 €06-6351-0084

京都小隊 675-343-3726 広島小隊 6082-262-3776 天満小隊 606-6358-6679 泉尾小隊 606-6551-9187 高松小隊 6087-851-0752 神戸小隊 6078-341-4594 高知小隊 6088-822-0365 岡山小隊 6086-227-9029 八幡小隊 6093-652-1584 福山小隊 6084-926-3151 福岡小隊 6092-531-7418

士官学校・資料館

救世軍士官学校

救世軍士官(伝道者)を養成する学校です。(全寮制・2年間) 〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-17 **** 03-6256-8262

山室軍平記念救世軍資料館

日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所 蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館(10時~16時)しています。 (ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします)

〒166-0012 東京都杉並区和田2-21-39 **** 03-6256-8194

13 Salve 救世軍 年次報告 2022 - 2023 The Salvation Army in Japan Annual Report



日本に住んでいる私たちは普段目にす ることはできませんが、発展途上国 を中心に世界には医療・教育・貧 困対策・地域開発など支援を必 要としている人々が大勢いま す。私たちはこれらの問題 から目を背けず、苦し んでいる人々を救う ために日々活動を

ABC

しています。

識字教育

教育











D愛を伝える

伝 道

Our Vision

すべての人々に

等しく 救い の手を

私たちの使命は、世界中の困窮者・弱い立場に

いる人々に、支援や援助にとどまらない本当の「救

い」を提供することです。神の愛を伝え、奉仕し、人種

や思想を超えたすべての人が安心・安全で明るい未来を描け

社会的立場の弱い人を救う

るような日々と社会を目指し、活動に取り組んでいます。





校存症とたたかう





飢えから守る

医療•福祉

災害支援

呆護施設運営







つかう責任

日本における救世軍の活動

すべての人の心の居場所であるよう、全国の小隊では毎週日曜日の礼拝や音楽活動など、 様々な集会や活動、イベントを行っております。また、礼拝のほか、地域奉仕の拠点と しても機能しています。

礼拝(聖別会)

毎週日曜日に開催。賛美をささげ、聖書のメッセージに 耳を傾け、神の御前に重荷をおろして新たな力を受ける 時となっています。



コロナが落ち着き、対面での礼拝が再会されています。オンライ ンで参加可能な小隊もあります。

音楽活動

主イエス・キリストの復活を喜び祝うイースターコン サートを YouTube でライブ配信しました。



ジャパン・スタッフ バンドが演奏。士官 学校長テンプルマ 小隊ママゴスペルの 賛美もありました。

地域奉什

地域のニーズに沿って、小隊ごとに子ども食堂、英会話教室、 フードサービス、街頭生活者支援などの活動を行っています。



「杉並みんなの食堂」 では、こども 100 円、 おとな 200 円で食事 を提供しました。



「こども食堂マナ」では、 「ドミノピザ」様からの クリスマス無料提供に より、1世帯に1枚ピザ をプレゼントしました。



コロナ禍で利用者が 倍増する山谷地区で

会員や信徒でなくても、どなたでも参加できる活動も行っています。 随時活動にご参加頂ける方をお待ちしております。

女性の活動

例会では聖書の学び、子育 て支援、料理、手仕事、身 近な課題の学びなど様々な 活動を行っています。

「きずな献金」運動では毎 年、開発途上国を覚えて祈 り、支援のために募金を集 め海外に送っています。



コミュニティ・ケア・ミニストリーズ(CCM)

キリストの愛を実践する奉 仕グループです。地域のニー ズに沿って、ボランティア 活動を行います。

- ・病院・施設、地域に暮らす高齢者 や障がいのある方への支援
- ・災害時支援
- ・各施設でのカウンセリング、リハ ビリ、レクリエーション活動など













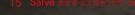
救世軍の活動は、国連が進める「持続可能な開発目標 (SDGs)」のうち次の目標達成に貢献しています。

健康と福祉を



ジェンダー平等 を実現しよう

つくる責任、



日本における救世軍の活動

福祉

日本の救世軍は、児童養護、婦人保護、高齢者介護、アルコール依存症者回復支援、保育所、学童保育、バザー場を通して様々な社会福祉の活動を進めています。

災害支援

地震・津波・洪水などの災害により、家や居場所・家族 を失った人々が生活を回復できるよう、迅速な支援と復 旧へのサポートを行っています。



断水の起きた地域に、 飲料などの支援を行いました。



国内の救世軍では災 害救援車両を2台保 有し、多くの救援物 資を被災地に届けて います。

保育園の運営

救世軍の運営する保育園では、地域のニーズに応えつつ、 なによりも子どもたちの健やかな成長のために日々保育 にあたっています。



子どもたちの豊かな 心身の発達を願った 保育実践に取り組ん でいます。



水、砂、泥んこ遊び、 散歩など戸外での活 動を重視しています。

バザー

「人と物の再生」をテーマに、アルコール依存症者の回復と自立を支援する場として、杉並区と墨田区に拠点を構えています。皆様より寄贈される衣類、雑貨、書籍などを整理し、販売するリサイクル事業は、回復と自立を目指す人たちの雇用機会につながります。

また、バザーによる販売収益は、アルコール依存症者の 社会復帰支援に活用されます。

2022年は日本国内へのウクライナ避難者受け入れ支援を行っている YMCA にご協力頂き、東京・杉並の救世軍バザー場でウクライナ避難者に「お買い物券」(バザークーポン)の支援を8月から開始しました。このために救世軍活動資金から100万円が用いられました。



江東出張所で多くの人 が買い物をする様子。



国内のウクライナ避 難者に「お買い物券」 (バザークーポン) が 配布されました。



介護施設の運営

いつも一緒に過ごす入居者とスタッフは家族のような関係性を築き、住み慣れた我が家のように安心して過ごして頂いています。

医療

日本では、ホスピスを併設した 2つ の病院を通して、人が身体的・精神的・社会的・霊 的に健康な状態となることを目指す「全人的」な医 療と介護に取り組んでいます。

両病院とも、(財)日本医療機能評価機構認定病院と なっており、どなたでもご利用いただけます。入院 も随時対応しています。



救世軍ブース記念病院(1916年開設)



救世軍清瀬病院(1939年開設)

2023 ~ 2024 イベントスケジュール

2023年	
7月2日	救世軍創立158周年記念日
7月~8月	キッズ・キャンプ、夏期聖書学校
8月1~3日	軍国ユース・キャンプ(北海道)
9月10日	感謝と賛美のコンサート
9月~	感謝祭募金
9月22日	救世軍日本開戦128周年記念日
9月24日	人身取引被害者のための祈祷日
10月14日	召天者合同記念会(多磨霊園)
10月15日	女性サンデー きずな献金献納式
11月30日	社会鍋の日
12月3日	アドベントに入る。クリスマス・ セレブレーション・コンサート
12月24日	クリスマスサンデー
12月25日	クリスマス
2024年	
3月	克己週間 イースター イースターコンサート
4月	酒害強調週間 救世軍音楽週間
5月	ペンテコステ 青年デー 女性部ラリー
6月	医療サンデー 創立記念コンサート

17 Salve 救世軍 年次報告 2022-2023 The Salvation Army in Japan Annual Report



救世軍の活動は 皆様のご寄付・ご支援により支えられています。

HPで寄付する



https://www.salvationarmy.or.jp

救世軍公式 SNS



・救世軍 The Salvation Army

・救世軍青少年部チャンネル



@SArmy_JP



@SArmy_JP



@SArmy_JP



@sarmyjp

Salve (サルヴェ)

救世軍 年次報告 2022-2023

The Salvation Army in Japan Annual Report 2022-2023

発行者 代表者 スティーブン・モーリス

発行所 救世軍本営 = 101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

TEL 03-3237-0881 FAX 03-3237-3588 制作 株式会社 TARO WORKS 発行 2023 年 7 月

「Salve」とはラテン語で「こんにちは」という意味です。 救世軍から支援者の皆様への挨拶の思いを込めて、年次

報告のタイトルとしました。